

文部科学省「衛生管理マニュアル」における地域の感染レベルの設定基準(県立学校)等

熊本県教育委員会

県リスクレベル(目安)			衛生管理マニュアル				
レベル	本県の基準		地域の感染レベル	地域の感染レベル毎の行動基準等			
	病床基準 (最大確保病床使用率)	新規感染者基準 (週感染者数)		身体的距離	登校	感染リスクの高い教科活動	部活動(自由意思の活動)
レベル4 避けたい レベル	80%	—	3	できるだけ2m程度(最低1m)	本人だけでなく同居の家族に発熱等の風邪症状があるときは自宅で休養	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル3 対策強化 レベル	40%	874人					
レベル2 警戒強化 レベル	15%	175人	2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	本人に発熱等の風邪症状があるときは自宅で休養	(収束局面) 感染リスクの低い活動から徐々に実施 (拡大局面) 感染リスクの高い活動を停止	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1 維持すべき レベル	—	17人	1			本人に発熱等の風邪症状があるときは自宅で休養	適切な感染対策を行った上で実施
レベル0 感染ゼロ	県内で継続的な感染が起こっていない状況						

* 県リスクレベルに係るレベル及び判断基準は令和3年12月改訂時点

* 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(「衛生管理マニュアル」)」は2021.11.22Ver.7